

安倍政権を退陣に追い込もう

第89回メーデー北海道集会

第89回メーデー北海道集会が5月1日、満開の桜が咲き競う札幌市・中島公園「自由広場」で開かれ3,000人が参加しました。

集会では、黒澤幸一実行委員長（道労連議長）が「8時間労働制を求めるアメリカでのたたかいからメーデーが始まったが、安倍政権は『働き方改革』でこの8時間労働制を根本から壊そうとしている。9条改憲にも執念をもつ安倍政権を退陣に追い込もう」とあいさつしました。日本共産党を代表して紙智子参院議員が激励のあいさつを述べ、立憲民主党道連と社会民主党道連からメッセージが寄せられました。

11人の参加者代表が「無期雇用転換」「最賃」「憲法」「原発」などの要求課題で40秒スピーチし、共感の「そだねー」の声も。集会の最後には参加者全員がそれぞれの要求を書き込んだメッセージボードを掲げてたたかいの決意を示しました。公園内の桜のアーケードを通り抜けて出発した今年のデモ行進の先頭にはブラスバンド隊が立ち、建交労札幌合同支部の宮澤委員長もトランペットを響かせました。



5・3 安倍9条改憲 NO!守ろう憲法集会

変えるべきは憲法ではなくいまの政治だ

「3000万人署名」全国1350万筆/道内59万筆超える

5月3日、札幌で「憲法施行71周年—安倍9条改憲NO!&守ろう憲法集会」が開かれ、小雨の降る中700人が集まりました。集会では、北海道平和運動フォーラムの長田秀樹代表、北海道憲法共同センターの黒澤幸一共同代表（道労連議長）、立憲民主党の道下大樹衆院議員、日本共産党の紙智子参院議員など8人がリレートークしました。黒澤議長は「変えるべきは憲法ではなくいまの政治だ」と強く訴えました。この日までに「3000万人署名」が全国で1350万筆、道内で59万筆を越えました。改憲発議を断念させるため5月中に全国3000万筆、道内100万筆を達成するためにさらにとりくみを広げましょう。

**再稼働 泊原発
するな! させるな!**

泊原発の運転停止から6年、5月5日に札幌で「泊原発・再稼働するな! させるな! 北海道大行進」がおこなわれ250人が参加しました。「原発が止まって6年たったが私たちの生活に支障はない」と、「原発なくせ」「再稼働反対」を市民にアピールしました。